

「新幹線ホームの新型車いす用スロープの不具合改善」に関する申入れ

6月から新幹線各駅に対して、N700Sの車両に対応できる新型車いす用スロープが配備されました。ところが、新型スロープはホームとスロープの接する部分に段差が発生して、車いすが乗降する際に支障となることが判明しました。特に、乗車時においては、車いすの前輪がスロープの端の段差に引っかかりスムーズに乗車できません。その時に力を入れて車いすを押すと、車いすが前のめりに転倒する恐れがあります。会社としても、新型スロープの不具合については把握していて対策を講じていると聞いています。しかし、新型スロープの不具合が判明してからすでに1ヶ月以上経過していますが、一向に改善の動きが見えてきません。

8月11日、関西地本は早急に「新幹線ホームの新型車いす用スロープの不具合改善」に関する団体交渉の場を設定することを申し入れました。

【 申し入れ内容 】

1. 新型スロープの不具合について、明らかにすること。
2. 新型スロープの不具合に対する対策について、明らかにすること。
3. 早急にN700S含めてすべての車両（500系含む）に対応できるスロープを配備すること。
4. 新型車いす用のスロープの不具合による旅客の傷害等が発生したときの責任の所在を明らかにすること。